

**FP-510II／FP-510／FP-510 (PFBM)
／FP-510K／FP-510K (WL)
／FP-510 (BT)**

Windows ドライバ ユーザーズガイド

富士通アイソテック株式会社

Revision 2.1.3.0

目次

1	はじめに	2
1.1	概要	2
1.2	関連ドキュメント	2
1.3	商標について	2
1.4	動作環境	3
2	インストール・アンインストール	4
3	プリンタドライバの使用方法	5
3.1	設定画面の表示方法	6
3.1.1	プリンタのプロパティの表示方法	7
3.1.2	印刷設定（ドキュメントのプロパティ）の表示方法	8
3.2	初期設定	9
3.2.1	ポートの設定（シリアルインタフェースの場合）	9
3.2.2	カスタム用紙の設定	10
3.3	アプリケーションからの印刷	12
3.4	バーコード・2次元コードの印刷	14
3.4.1	バーコード（2次元コード）印刷の仕組み	14
3.4.2	バーコード（2次元コード）の印刷手順	14
3.4.3	置換元フォントの設定手順	16
4	プリンタドライバの設定	18
4.1	[カスタム用紙] タブ	19
4.2	[用紙] タブ	21
4.3	[用紙カットと紙送り] ダイアログ	26
4.4	[グラフィクス] タブ	30
4.5	[オペレーション] タブ	32
4.6	[バーコード] タブ	37
4.6.1	バーコード・2次元コードの対応一覧	38
4.6.2	バーコードフォントの新規登録方法	39
4.6.3	バーコードフォントの設定変更方法	39
4.6.4	設定項目の説明（バーコード共通項目）	40
4.6.5	バーコードの設定	43
4.6.6	QR Code の設定	46
4.6.7	PDF417 Code の設定	47
4.6.8	DataMatrix Code の設定	49
4.6.9	MaxiCode の設定	50
5	プリンタのステータス情報の表示	52
6	使用上の注意	55
6.1	プリンタドライバの設定に関する注意事項	55
6.2	アプリケーションに関する注意事項	56
6.3	バーコード・2次元コードに関する注意事項	57
6.4	その他の注意事項	60
7	改訂履歴	61

1 はじめに

1.1 概要

このドキュメントは、FP-510II/FP-510/FP-510 (PFBM) /FP-510K/FP-510K (WL) /FP-510 (BT) プリンタで使用する Windows プリンタドライバの使用方法について記載しています。

FP-510II/FP-510/FP-510 (PFBM) /FP-510K/FP-510K (WL) /FP-510 (BT) Windows プリンタドライバは、Windows アプリケーションから FP-510II/FP-510/FP-510 (PFBM) /FP-510K/FP-510K (WL) /FP-510 (BT) プリンタへ印刷するときに必要なソフトウェア（プリンタドライバ）で、アプリケーションからの印刷データを FP-510II/FP-510/FP-510 (PFBM) /FP-510K/FP-510K (WL) /FP-510 (BT) 用のデータに変換してプリンタへ送信します。また、バーコード、用紙節約、印刷位置の調整、用紙カットといった、さまざまな印刷機能の設定を行うことができます。

1.2 関連ドキュメント

下表に関連するドキュメントを示しますので、適宜ご覧ください。

ドキュメント名	参照フォルダ/ファイル名
インストールガイド	¥Install_Guide_J. pdf
プリンタ取扱説明書 (FP-510II 用)	¥Manual¥FP-510II¥INDEX. pdf
プリンタ取扱説明書 (FP-510 用)	¥Manual¥FP-510¥INDEX. pdf
プリンタ取扱説明書 (FP-510K 用)	¥Manual¥FP-510K¥INDEX. pdf
ユーティリティユーザーズガイド	¥Manual¥Utility_Guide_J. pdf

1.3 商標について

本書内に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

1.4 動作環境

本プリンタドライバは、以下の環境でご利用になれます。

➤ プリンタの設定

- ・ エラー復帰 : 自動
- ・ カバーオープン : 自動復帰エラー

＜ガイド＞ 上記は、プリンタ出荷時の初期値になります。

通常はそのままご利用になれますが、OP0S ドライバを使用した際は、[エラー復帰] 設定が「コマンド」になるため設定変更が必要です。
設定方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

➤ インタフェース

- ・ シリアルインタフェース
- ・ セントロニクス社準拠パラレルインタフェース
- ・ USB インタフェース(*1)
- ・ LAN インタフェース(*2)
- ・ Bluetooth インタフェース(*3)

*1) Bluetooth/USB モデルでの USB インタフェース使用について

USB インタフェースを使用した Windows ドライバのご使用はサポートしておりません。

*2) LAN インタフェースでの使用について

LAN 環境で使用する際は、印刷クライアントソフトウェア「PR-PortManager」をインストールします。「PR-PortManager」のインストール、使用方法については、プリンタ LAN カード のオンラインマニュアルを参照してください。

*3) Bluetooth インタフェースでの使用について

Bluetooth インタフェースで Windows ドライバをご使用の際は、Bluetooth ペアリングによって追加された仮想 COM ポートを使用します。
ペアリングの方法については、インストールガイドを参照してください。

2 インストール・アンインストール

本プリンタドライバのインストールとアンインストール方法については、「インストールガイド」の

「インストール」

「アンインストール」

をご覧ください。

3 プリンタドライバの使用方法

ここでは、Windows アプリケーションから FP-510II/FP-510/FP-510 (PFBM) /FP-510K /FP-510K (WK) /FP-510 (BT) プリンタに印刷を行う際の、プリンタドライバの設定方法や代表的な印刷方法について説明します。

例として、FP-510II プリンタで説明しておりますので、異なるプリンタの場合は、読み替えてください。

プリンタドライバをインストールした後、実際にアプリケーションから印刷するまでの操作の流れは以下になります。

I プリンタドライバのインストール

II ポートの設定

シリアルインタフェースで使用する場合は、[プリンタのプロパティ]の[ポート]タブにてシリアルインタフェースに関する設定を行います。

⇒【参照ページ】

3.1.1 プリンタのプロパティの表示方法

3.2.1 ポートの設定（シリアルインタフェースの場合）

III カスタム用紙の設定

本プリンタドライバは、定形用紙サイズとして6種類の用紙を用意していますが、独自の用紙を使用する際は、[プリンタのプロパティ]の[カスタム用紙]タブにて新しい用紙を作成しプリンタドライバに登録します。

⇒【参照ページ】

3.1.1 プリンタのプロパティの表示方法

3.2.2 カスタム用紙の設定

IV アプリケーションから印刷

プリンタドライバの印刷設定を行い、アプリケーションで作成した文書をプリンタに印刷します。

⇒【参照ページ】

3.1.2 印刷設定（ドキュメントのプロパティ）の表示方法

3.3 アプリケーションからの印刷

＜代表的な印刷方法＞

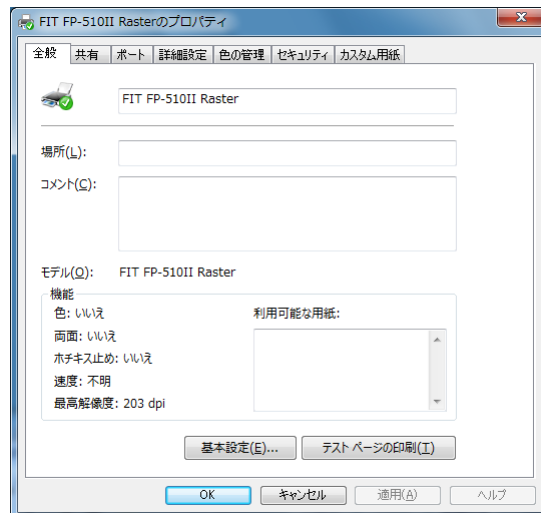
3.4 バーコード・2次元コードの印刷

3.1 設定画面の表示方法

プリンタドライバの設定画面は、次の2種類あります。

◆ プリンタのプロパティ

プリンタのプロパティ画面は、カスタム用紙やポート（シリアルインタフェースなど）に関する設定など、印刷を行うために必要なプリンタドライバの初期設定を行います。



◆ 印刷設定（ドキュメントのプロパティ）

印刷設定画面は、プリンタドライバが持つさまざまな印刷機能（バーコードや用紙カットなど）の設定を行います。



以下に各画面の表示方法について説明します。

なお、メニューの名称などは、Windows の画面設定により異なることがありますので、適宜読み替えてください。

※プリンタフォルダの開き方はご使用の OS によって異なります。プリンタフォルダの開き方については「インストールガイド」の「2.1 本書での説明表記について」を参照してください。

3.1.1 プリンタのプロパティの表示方法

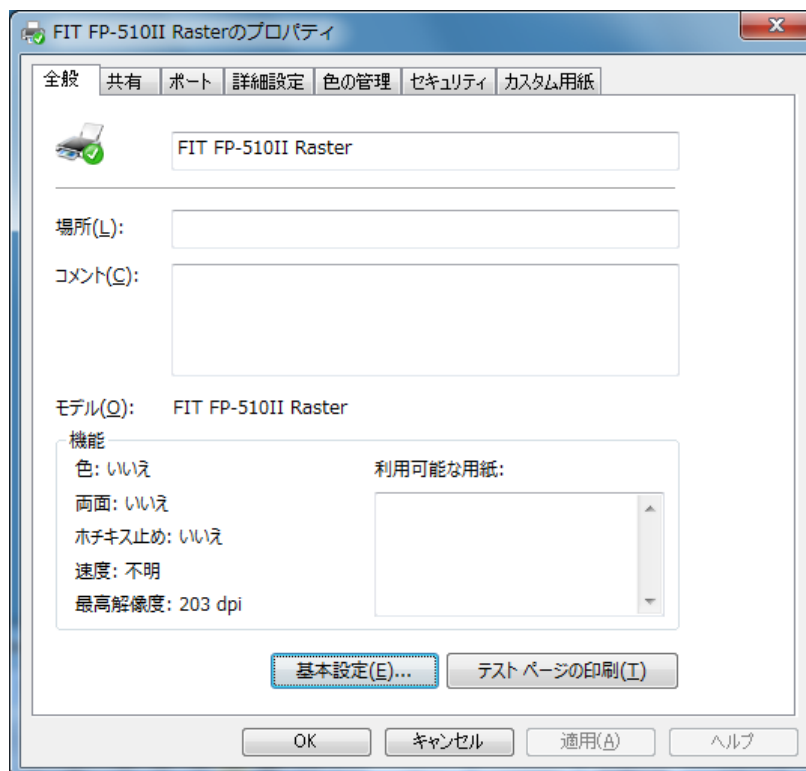
プリンタのプロパティの設定変更を行うためには、管理者権限が必要です。設定を変更する際は、Administrators のアカウントでログオンしてください。

- (1) プリンタフォルダで「FIT FP-510II Raster」を右クリックし、[プリンターのプロパティ]を選択します。

※Windows Vista, Server 2008 において、プリンタ名を右クリックした際に[管理者として実行]が表示される場合は、[管理者として実行]→[プロパティ]を選択します。

その際、[ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示される場合は、[続行]を選択してください。

- (2) 選択したプリンタのプロパティ画面が表示されます。
以下は、「FIT FP-510II Raster」を選択した場合の画面例です。



3.1.2 印刷設定（ドキュメントのプロパティ）の表示方法

- (1) プリンタフォルダを開きます。
- (2) 「FIT FP-510II Raster」を右クリックし、[印刷設定]を選択します。
- (3) 選択したプリンタの印刷設定画面が表示されます。
 以下は、「FIT FP-510II Raster」を選択した場合の画面例です。



上記のようにプリンタフォルダから印刷設定を行った設定値は、アプリケーションから使用する際の初期値になります。なお、印刷設定はアプリケーション上から印刷ジョブごとに設定することもできます。アプリケーションからの設定方法については、後述の「3.3 アプリケーションからの印刷」で説明します。

3.2 初期設定

プリンタドライバを使用して印刷する際は、あらかじめ以下について設定する必要があります。初期設定は、プリンタのプロパティ画面で行います。

- ◆ ポートの設定（シリアルインタフェースの場合）
- ◆ カスタム用紙の設定

以下に各設定について説明します。

3.2.1 ポートの設定（シリアルインタフェースの場合）

本プリンタドライバをシリアルインタフェースで使用する場合は、ポートの設定を以下にご利用ください。

- ・ ビット／秒 : 115200
- ・ データビット : 8
- ・ パリティ : なし
- ・ ストップビット : 1
- ・ フロー制御 : ハードウェア

設定手順は以下になります。

- (1) プリンタフォルダで「FIT FP-510II Raster」を右クリックし、[プリンターのプロパティ]を選択します。

※Windows Vista, Server 2008 において、プリンタ名を右クリックした際に[管理者として実行]が表示される場合は、[管理者として実行]→[プロパティ]を選択します。

その際、[ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示される場合は、[続行]を選択してください。

- (2) [ポート]タブをクリックし、接続したポート(COMx:)を選択します。

※「COMx:」の「x」は、ポート番号を示す数値です。

- (3) [ポートの構成]ボタンをクリックします。

- (4) [COMx のプロパティ]画面にて、ビット／秒、データビット、パリティ、ストップビット、フロー制御を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

- (5) プロパティの画面にて[OK]ボタンをクリックします。

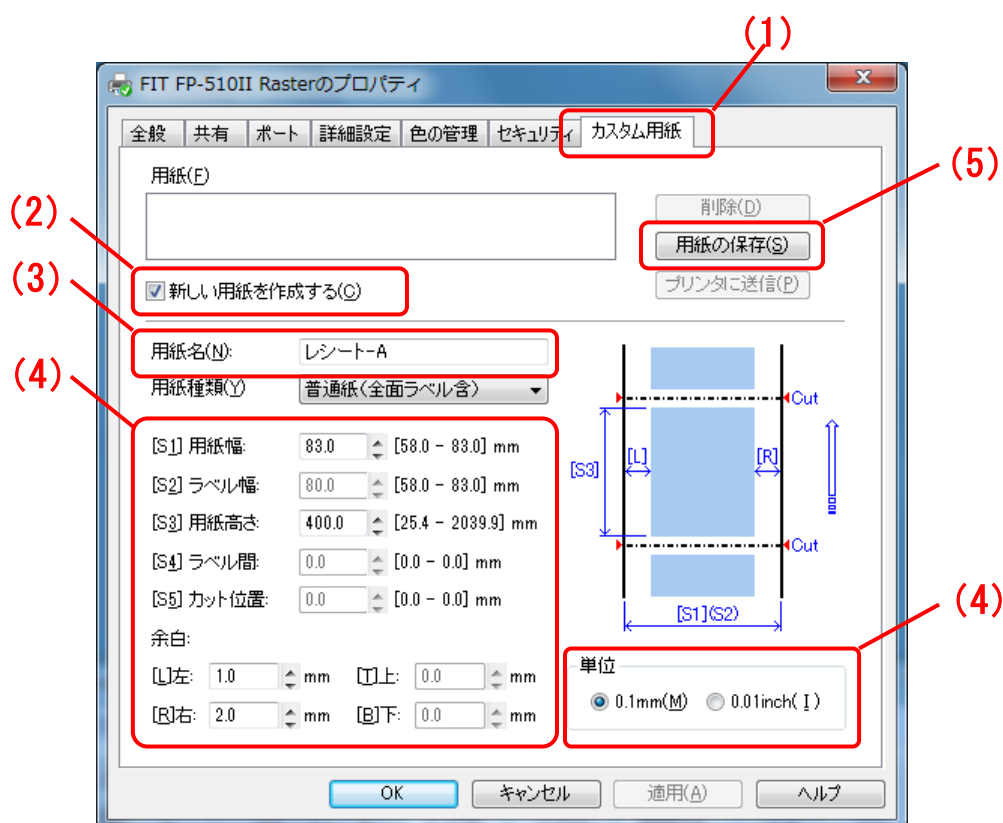
3.2.2 カスタム用紙の設定

本プリンタドライバは、定形サイズとして次の6種類の用紙を用意しています。

用紙サイズ	余白 (mm)			
	左	右	上	下
83 x 297 mm (53 桁)	1.0	2.0	0.0	0.0
80 x 297 mm (48 桁)	4.0	4.0	0.0	0.0
80 x 297 mm (42 桁)	8.0	8.0	0.0	0.0
60 x 297 mm (36 桁)	3.0	2.5	0.0	0.0
58 x 297 mm (35 桁)	3.0	2.5	0.0	0.0
58 x 297 mm (32 桁)	5.0	5.0	0.0	0.0

上記に示す定形サイズ以外の用紙に印刷する際は、あらかじめプリンタドライバでカスタム用紙の設定を行う必要があります。カスタム用紙の設定は、印刷する用紙に合わせて、サイズを設定し名称をつけてプリンタドライバに登録します。以下にカスタム用紙の設定方法について記載します。

(1) [プリンターのプロパティ]画面で[カスタム用紙]タブをクリックします。



(2) [新しい用紙を作成する]にチェックをつけます。

(3) [用紙名]に作成する用紙名を入力します。

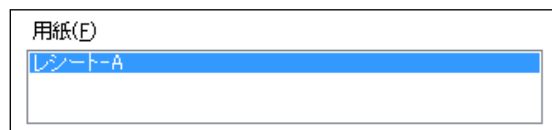
※用紙名はユニークな名前をつけることができます。
上図は、「レシート-A」の用紙名を入力した例です。

- (4) [単位]を選択し、レイアウト図を参考に用紙のサイズや余白量について、[S1][S3][L][R]の値を入力します。

※単位を変更した場合、0.1mmの演算誤差が発生する場合があります。
その際は、再度設定して下さい。

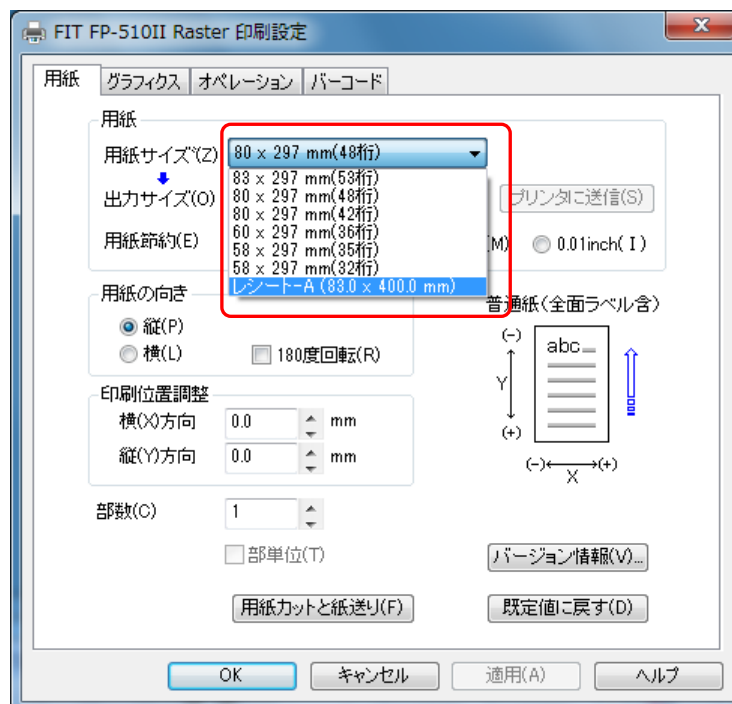
※[用紙種類][S2][S4][S5]はラベルプリンタ用の設定です。
本プリンタでは指定できません。
また、余白の[T][B]は、“0.0”固定です。

- (5) [用紙の保存]ボタンをクリックします。
作成した用紙が[用紙]のリストに表示されます。



- (6) [OK]ボタンをクリックし、プロパティ画面を閉じます。

※登録した用紙は、[印刷設定]画面の[用紙サイズ]に列挙され、印刷時に指定が可能になります。

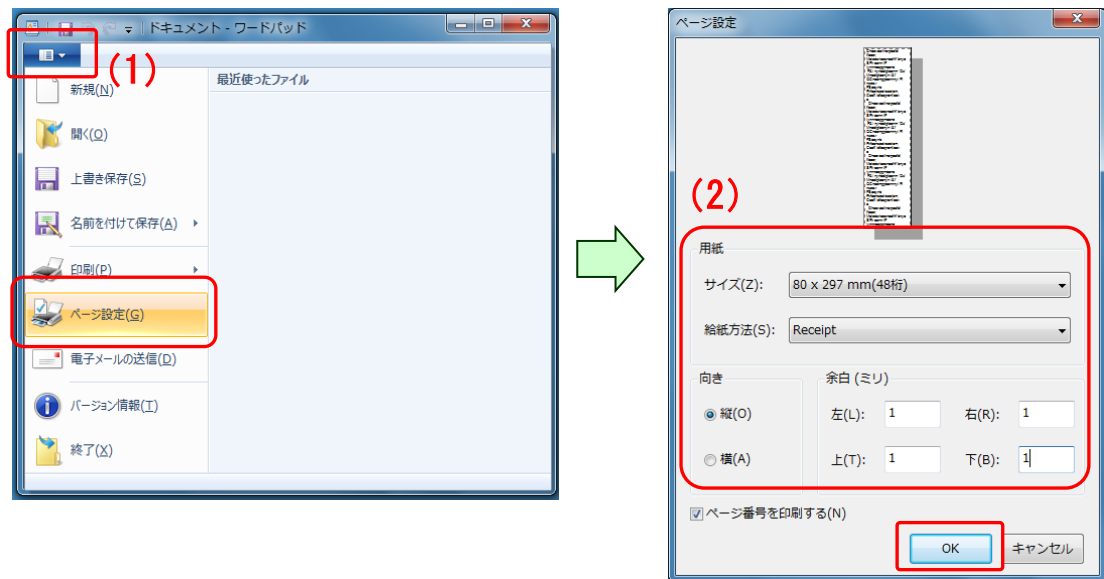


左図は、「レシート-A」という用紙名で、用紙幅 83mm、用紙高さ 400mm のサイズをカスタム用紙として登録した例です。

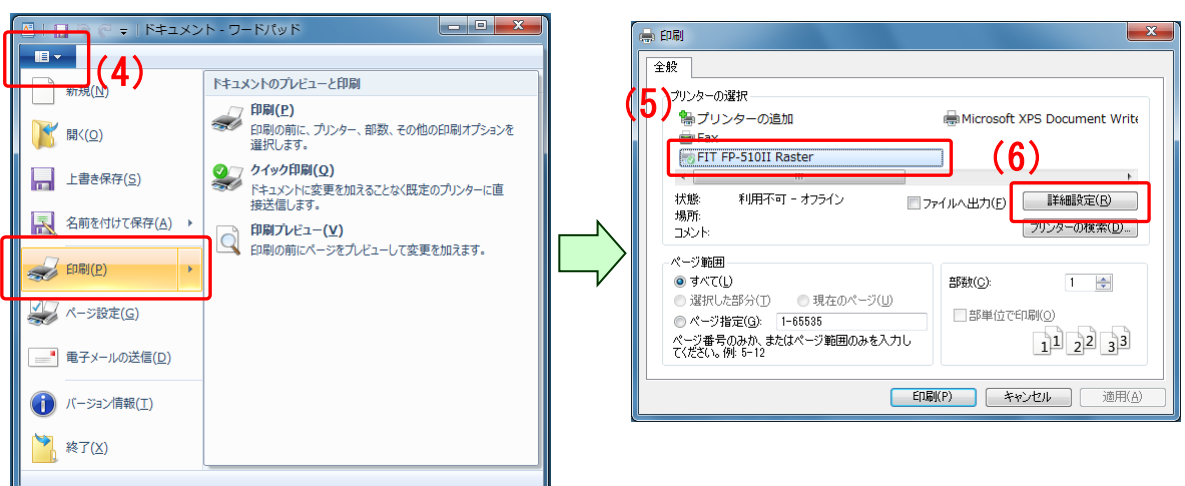
3.3 アプリケーションからの印刷

プリンタドライバに登録された用紙を使用して、アプリケーションから文書を印刷することができます。ここではワードパッドを例にあげ、FP-510II プリンタへ印刷する方法について説明します。

- (1) ワードパッドの[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択します。
- (2) [ページ設定]画面にて、用紙サイズ、印刷の向き、余白を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

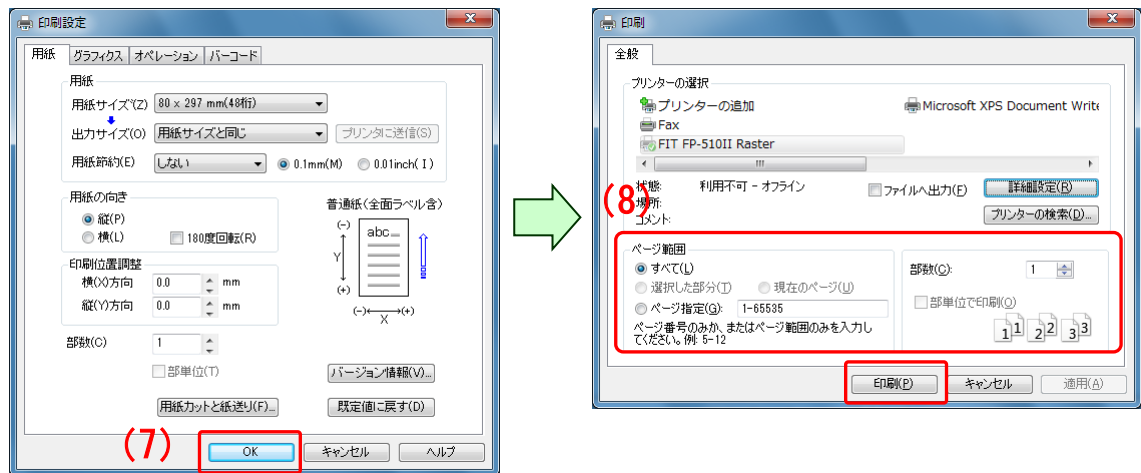


- (3) ワードパッドの編集画面で文書を編集します。
- (4) [ファイル]メニューから[印刷]を選択します。
- (5) [プリンターの選択]に印刷対象のプリンタ名「FIT FP-510II Raster」を指定します。
- (6) プリンタドライバの印刷設定を行う際は、[詳細設定]をクリックします。
※印刷設定を開くボタンはアプリケーションによって異なります。例えば Excel では、ボタン名が[プロパティ]になります。



(7) [FIT FP-510II Raster のプロパティ] (印刷設定) 画面が表示されます。印刷設定を行い[OK]ボタンをクリックします。

(8) 必要に応じて[ページ範囲]または[部数]を選択し、[印刷]ボタンをクリックします。



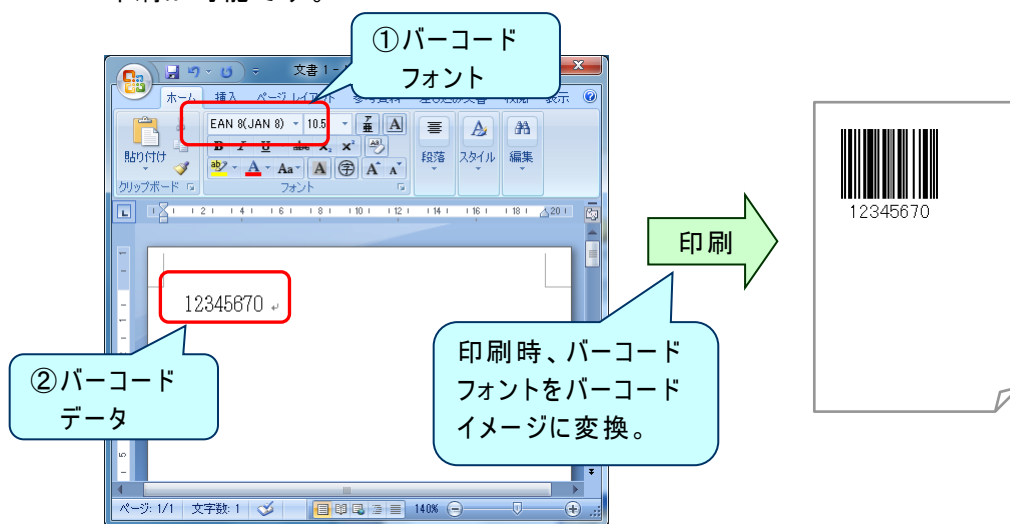
(9) プリンタに印刷データが送信され印刷が行われます。

3.4 バーコード・2次元コードの印刷

本プリンタドライバは、多くの種類のバーコードと2次元コードの印刷をサポートしています。これにより、ワードパッドやOfficeなど、一般のアプリケーションからもバーコードや2次元コードの印刷が可能です。

3.4.1 バーコード（2次元コード）印刷の仕組み

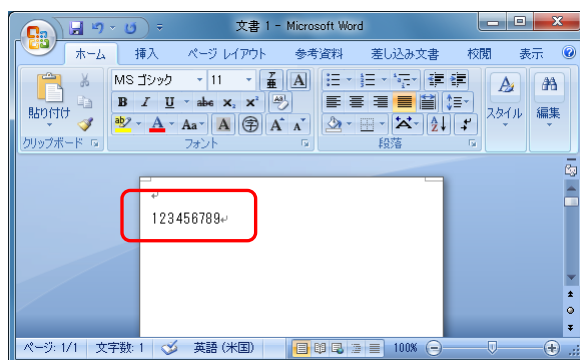
本プリンタドライバを使用すると、アプリケーションのフォント選択画面にバーコードの名称がついたフォント（①バーコードフォント）が追加されます。バーコードとして印刷する文字（②バーコードデータ）のフォント名をバーコードフォントに指定することにより、その文字がバーコードとして印刷されます。2次元コードも同様の方法で印刷が可能です。



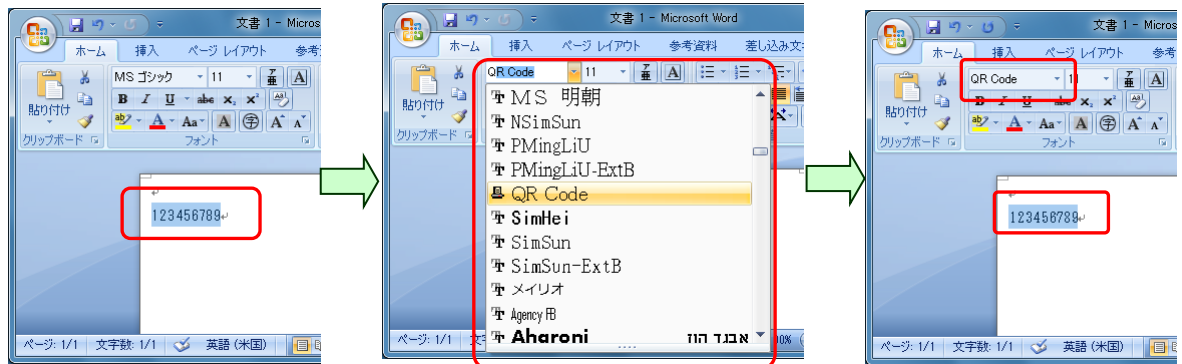
以下にバーコード（2次元コード）を印刷する手順について説明します。

3.4.2 バーコード（2次元コード）の印刷手順

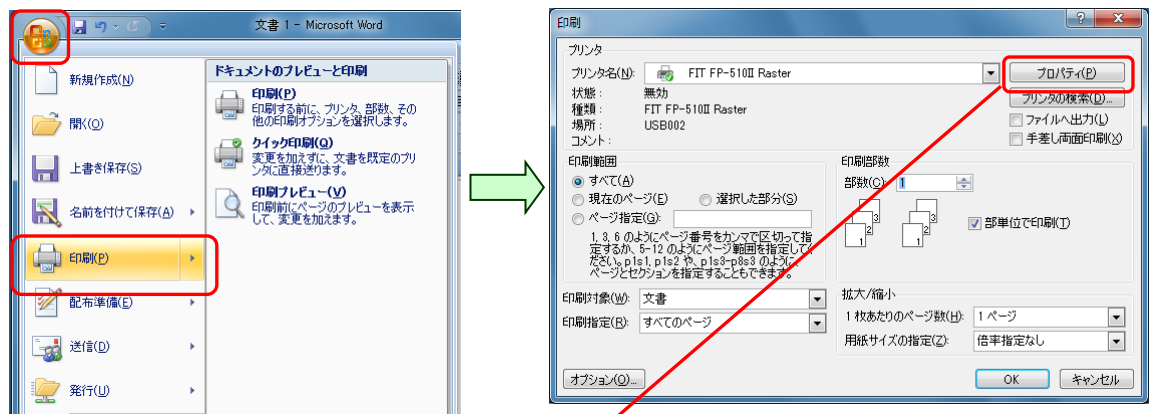
- (1) アプリケーションを起動し、文書の用紙設定を行います。
文書の用紙設定については、3.3章の(1)～(7)を参照してください。
- (2) アプリケーションの編集画面で、バーコード（2次元コード）で印刷するデータを入力します。



- (3) 入力したバーコード（2次元コード）のデータを選択し、アプリケーションのフォント選択リストから印刷するバーコード（2次元コード）フォントを指定します。以下は、2次元コードの「QR Code」を選択した例です。

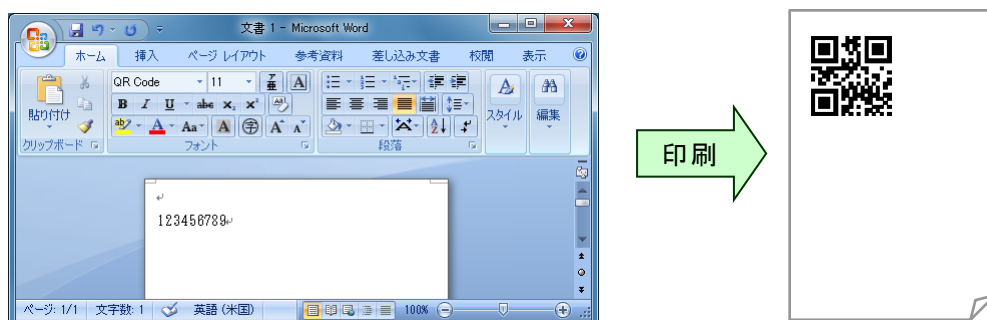


- (4) [ファイル]メニューから[印刷]を選択し、[印刷]ダイアログを開きます。



※バーコード・2次元コードに関する設定（サイズや回転指定など）を行う際は、[詳細設定] ボタンをクリックし、プリンタドライバの[印刷設定]画面を開きます。
設定の詳細は、「4.6 [バーコード] タブ」の章を参照してください。

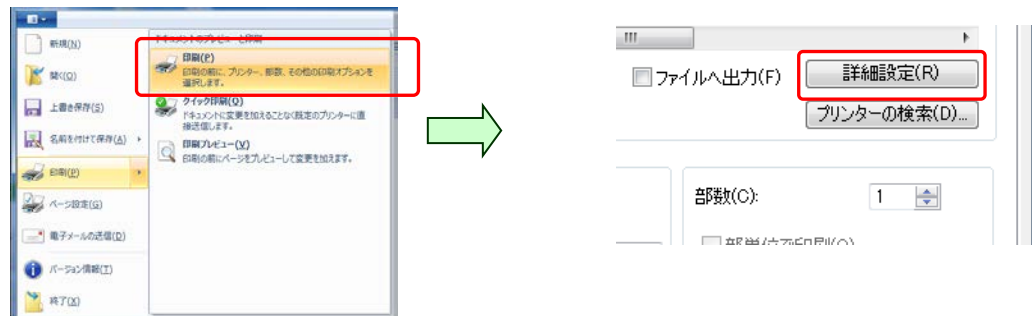
- (5) [OK] ボタンをクリックし印刷を実行します。
アプリケーション上で、バーコード（2次元コード）フォントとして選択した文字がバーコード（2次元コード）で印刷されます。



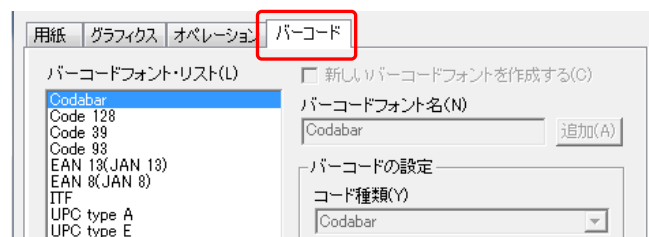
3.4.3 置換元フォントの設定手順

ここでは Windows に登録されている任意のフォントをバーコードフォントとして使用する設定について説明します。

- (1) アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択し、[印刷]ダイアログで[詳細設定]ボタンをクリックします。



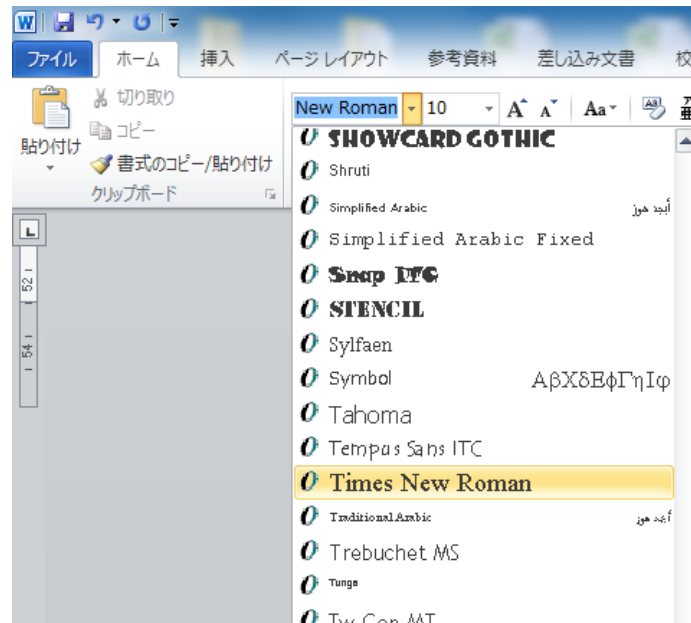
- (2) プリンタドライバの[印刷設定]画面で[バーコード]タブを開きます。



- (3) [バーコードフォント・リスト]から使用するバーコードを選択し、[置換元フォント]で Windows に登録されている任意のフォントを指定し、[OK]をクリックします。以下は、「QR Code」を置換元フォントで「Times New Roman」に設定した例です。



- (4) アプリケーションのフォント選択リストから(3)で指定したフォントを選択することで対象のバーコードでの印刷が可能となります。バーコードの印刷手順については 3.4.2 節を参照してください。



※アプリケーション内で文字として使用しているフォントは[置換元フォント]に指定しないでください。

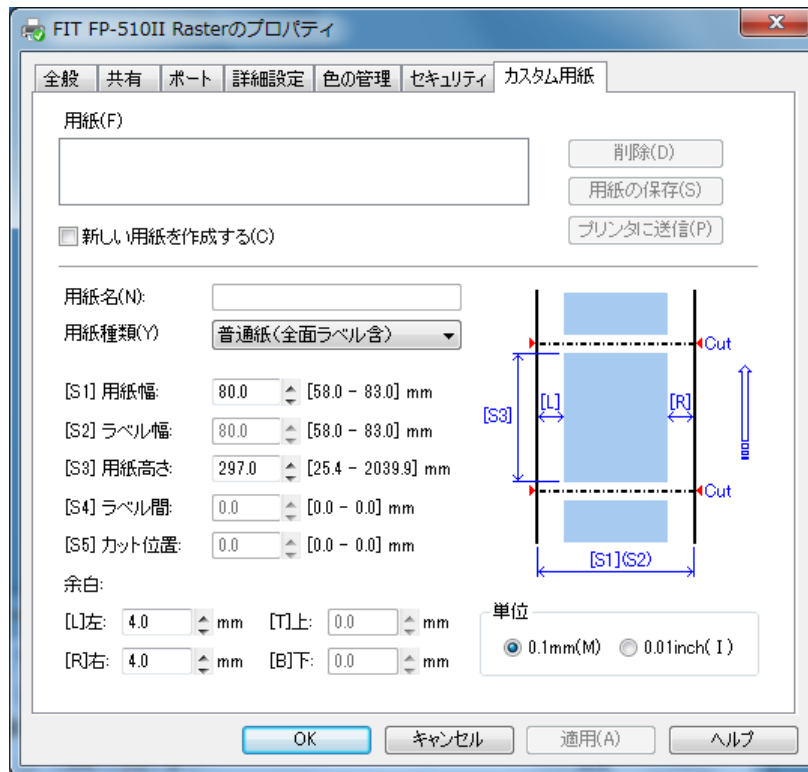
4 プリンタドライバの設定

ここでは、[プリンタのプロパティ]と[印刷設定]画面の設定機能について説明します。プリンタドライバの設定画面の構成は以下になります。ここでは、本プリンタドライバが独自に持つ設定（ 部）について説明します。Windows OS が持つ設定（ 部）については、Windows のヘルプを参照してください。

プリンタのプロパティ	
全般	プリンタ名の編集や印刷設定、テストページの印刷を行います。
共有	プリンタの共有設定をします。
ポート	ポートに関する設定をします。
詳細設定	印刷に関する詳細設定をします。
セキュリティ	プリンタドライバのセキュリティの設定をします。
カスタム用紙	カスタム用紙の作成と編集を行います。

印刷設定	
用紙	用紙に関する設定とバージョン情報を表示します。 〈用紙サイズ、出力サイズ、用紙節約、用紙の向き、印刷位置調整、部数、部単位〉
用紙カットと紙送り	用紙カットや紙送りに関する設定をします。 〈用紙カット、紙送り、上端印刷位置、余白節約、白紙節約〉
グラフィクス	グラフィクス関連の設定をします。 〈カラー、ハーフトーン、印刷速度、印刷濃度、黒濃度〉
オペレーション	オペレーション関連の設定をします。 〈ドローキック、ブザー、ロゴプリント〉
バーコード	各種バーコードと2次元コードに関する設定をします。 〈バーコードの設定〉

4.1 [カスタム用紙] タブ

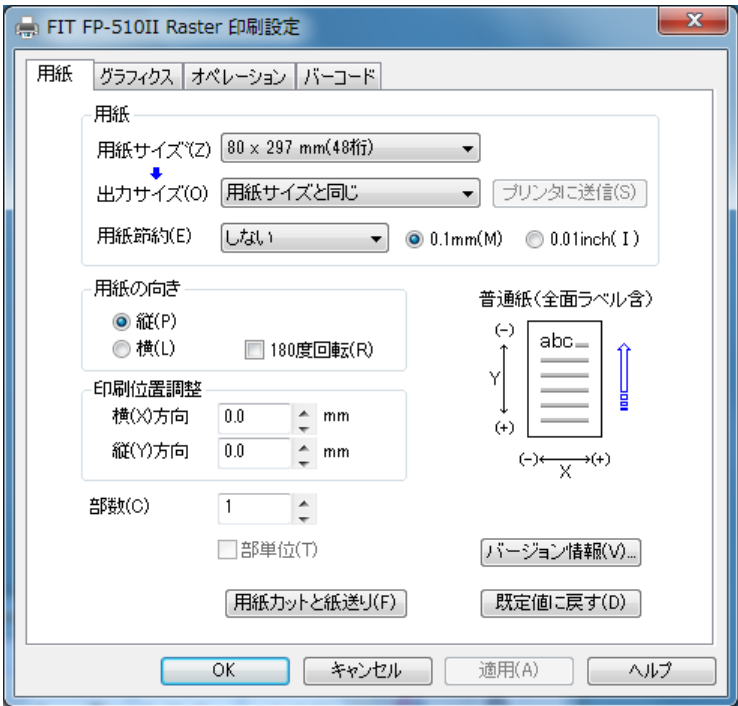


[カスタム用紙]タブの設定変更を行うためには、管理者権限が必要です。
設定を変更する際は、Administrators のアカウントでログオンしてください。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
用紙	登録されているカスタム用紙の一覧を表示します。
新しい用紙を作成する	新しい用紙を作成するときにチェックします。 登録済みの用紙（[用紙]のリストで選択している用紙）を編集する際は、チェックを外します。
削除	[用紙]のリストで選択している用紙を削除します。
用紙の保存	用紙を保存します。 [新しい用紙を作成する]をチェックしている場合は、[用紙]のリストに新しく用紙が追加されます。チェックをしていない場合は、[用紙]のリストで選択している用紙に上書きされます。
プリンタに送信	※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタではグレースケールで表示され設定できません。

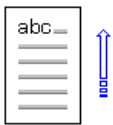
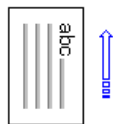
設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
用紙名	作成する用紙の名前を指定します。 用紙名はユニークな名前をつけることができます。 [新しい用紙を作成する]をチェックした際に入力できるようになります。
用紙種類	作成または変更する用紙の種類を指定します。 ※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタでは設定不要です。 「普通紙（全面ラベル含）」のままご使用ください。
	選択項目 普通紙（全面ラベル含）
[S1] 用紙幅	作成または変更する用紙の幅を指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙の幅が表示されます。
	設定範囲 58.0～83.0mm（2.28～3.27inch）
[S2] ラベル幅	作成または変更するラベルの幅を指定します。 ※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタではグレースケールで表示され設定できません。
[S3] 用紙高さ	作成または変更する用紙の高さを指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙の高さが表示されます。
	設定範囲 25.4～2039.9mm（1.00～80.31inch）
[S4] ラベル間 [S4] BM 長	作成または変更する用紙のラベル間の距離、または、BM 長を指定します。 ※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタではグレースケールで表示され設定できません。
[S5] カット位置	作成または変更する用紙のカット位置を指定します。 ※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタではグレースケールで表示され設定できません。
余白 [L] 左 [R] 右 [T] 上 [B] 下	作成または変更する用紙の余白（左/右）を指定します。 登録済みカスタム用紙が選択されているときは、そのカスタム用紙の余白値が表示されます。 ※本プリンタでは、[T][B]は「0.0mm」 固定です。
単位	作成または変更する用紙の単位を指定します。
	設定項目
	0.1mm ミリメートル単位で表示します。
	0.01inch インチ単位で表示します。

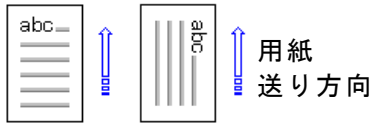
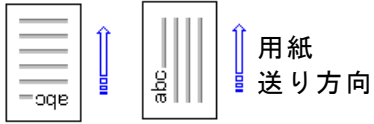
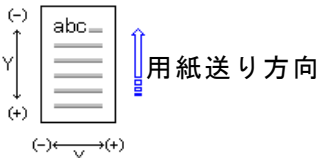
4.2 [用紙] タブ



設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
用紙サイズ	使用する用紙サイズを指定します。
	選択項目
	83 x 297 mm (53 桁)
	80 x 297 mm (48 桁)
	80 x 297 mm (42 桁)
	60 x 297 mm (36 桁)
	58 x 297 mm (35 桁)
	58 x 297 mm (32 桁)
	<ガイド>
	上記の他、[カスタム用紙]で登録した用紙も列挙表示され、指定が可能です。
	カスタム用紙の場合は、用紙名に続けて用紙のサイズが表示されます。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
出力サイズ	印刷（出力）する用紙のサイズに合わせて縮小印刷を行うかどうかを指定します。	
	選択項目	
	用紙サイズと同じ	[用紙サイズ]で設定している用紙と同じサイズを印刷に使用します。縮小印刷は行わず等倍で印刷されます。（通常印刷）
	＜用紙サイズよりも小さい用紙＞	指定した用紙に合わせて縮小印刷を行います。 指定可能な用紙は、[用紙サイズ]で選択されている用紙より印刷エリアが小さい用紙になります。
	＜ガイド＞ ・本設定は、[用紙節約]で「しない」を選択している場合に指定が可能です。 ・縮小印刷時の注意事項 ・極端に小さい倍率が指定されたときや、印刷する文字のサイズや種類によっては、文字がつぶれて印刷される等、印刷品質に影響を与えることがあります。画面右側にある用紙イメージ表示部に表示される倍率を確認し、あらかじめ印刷確認を行ったうえでご使用ください。 ・本プリンタドライバが持つバーコードとロゴについては、縮小しないで印刷されます。縮小した用紙にバーコードが収まらなかった場合、そのバーコードは印刷されません。また、印刷位置によっては、バーコードと他の印刷データが重なって印刷されることがあります。このような場合は、バーコードのサイズや印刷位置を調整して印刷してください。	
プリンタに送信	※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタではグレースケールで表示され設定できません。	

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
用紙節約	印刷データを縦方向に縮小して、用紙を節約するかどうかを指定します。	
	選択項目	
	しない	用紙節約を行わずに印刷します。 (通常印刷)
	1/4 節約	用紙を縦方向に 1/4 節約して印刷します。
	1/2 節約	用紙を縦方向に 1/2 節約して印刷します。
	<ガイド> ・本設定は、[出力サイズ]で「用紙サイズと同じ」を選択している場合に指定が可能です。 ・「1/4 節約」「1/2 節約」を指定した場合、用紙下部の空白行は自動的に削除して印刷されます。 ・節約（縮小）印刷時の注意事項 ・印刷する文字のサイズや種類によっては、文字がつぶれて印刷される等、印刷品質に影響を与えることがあります。あらかじめ印刷確認を行ったうえでご使用ください。 ・本プリンタドライバが持つバーコードとロゴについては、縮小しないで印刷されます。縮小した用紙にバーコードが収まらなかった場合、そのバーコードは印刷されません。また、印刷位置によっては、バーコードと他の印刷データが重なって印刷されることがあります。このような場合は、バーコードのサイズや印刷位置を調整して印刷してください。	
用紙の向き	ドキュメントを印刷する向きを指定します。	
	選択項目	
	縦	用紙を縦にして印刷します。 
	横	用紙を横にして印刷します。 

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
180 度回転	印刷イメージを 180 度回転して印刷するかを指定します。
	選択項目 オフ (未チェック) 印刷イメージを 180 度回転しないで印刷します。 用紙の向き=縦 横  用紙送り方向 オン (チェック) 印刷イメージを 180 度回転して印刷します。 用紙の向き=縦 横  用紙送り方向
印刷位置調整	印刷開始位置を微調整します。 横 (X) 方向 用紙送り方向に対し横方向の印刷位置を調整します。マイナスの値を指定した場合、左余白が減り、プラスの値を指定した場合、左余白が増えます。 縦 (Y) 方向 用紙送り方向に対し縦方向の印刷位置を調整します。マイナスの値を指定した場合、上余白が減り、プラスの値を指定した場合、上余白が増えます。 設定範囲 横 (X) 方向 ±用紙幅 (レンジ : 0.5mm) 縦 (Y) 方向 ±用紙高さ (レンジ : 0.5mm)  用紙送り方向 <ガイド> 本調整は、ロゴの印刷には反映されません。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
部数	印刷する部数を指定します。	
	設定範囲 1～999	
部単位	複数部数を印刷するときに、文書単位で部数を印刷するか、ページ単位で部数を印刷するかを指定します。	
	選択項目	
	オフ(未チェック) オン(チェック)	ページ単位で複数部数を印刷します。  文書単位で複数部数を印刷します。 
用紙カットと紙送り	[用紙カットと紙送り]ダイアログを開きます。 [用紙カットと紙送り]ダイアログの説明は、4.3章を参照してください。	
バージョン情報	[バージョン情報]ダイアログを開きます。 本プリンタドライバのバージョンが表示されます。	
既定値に戻す	[用紙]タブ内の設定を既定値（初期値）に戻します。	

4.3 「用紙カットと紙送り」 ダイアログ

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
印刷開始時	印刷開始時の用紙カットと紙送りについて指定します。	
用紙カット	印刷開始時に用紙をカットするかどうかを指定します。	
	選択項目	
	カットしない	用紙をカットしません。
	カットする（パーシャルカット）	用紙をパーシャルカットします。
	カットする（フルカット）	用紙をフルカットします。
紙送り	印刷開始時に指定の場所まで紙送りを行うかどうかを指定します。	
	※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタではグレーアウトで表示され設定できません。	

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
ページ間	ページ間における用紙カットと紙送りについて指定します。	
用紙カット	ページ間で用紙をカットするかどうかを指定します。	
	選択項目	
	カットしない	用紙をカットしません。
	カットする（パーシャルカット）	用紙をパーシャルカットします。
	カットする（フルカット）	用紙をフルカットします。
紙送り	ページ間において、指定の場所まで紙送りを行うかどうかを指定します。 ※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタではグレーアウトで表示され設定できません。	
印刷終了時	印刷終了時の用紙カットと紙送りについて指定します。	
用紙カット	印刷終了時に用紙をカットするかどうかを指定します。	
	選択項目	
	カットしない	用紙をカットしません。
	カットする（パーシャルカット）	用紙をパーシャルカットします。
	カットする（フルカット）	用紙をフルカットします。
紙送り	印刷終了時に指定の場所まで紙送りを行うかどうかを指定します。 ※本設定はラベルプリンタ用です。 本プリンタではグレーアウトで表示され設定できません。	

<ガイド>

[用紙カット] 設定について

- ・FP-510II, FP-510, FP-510K, FP-510K(WL), FP-510(BT) の場合
「フルカット」を指定してもパーシャルカットで動作します。
- ・FP-510(PFBM) の場合

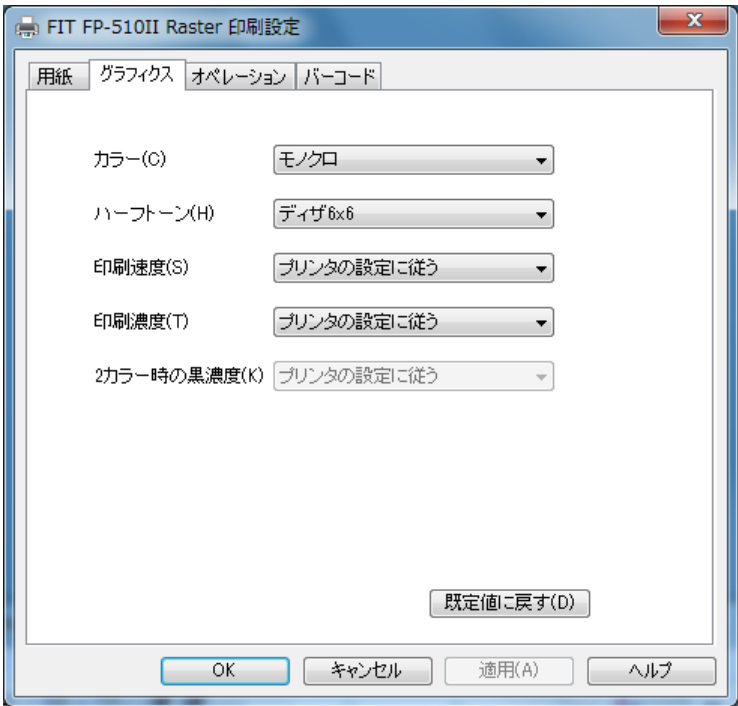
プリンタのセットアップの[カタ動作]が「コマンドに従う(P/F)」のときに、ドライバの[用紙カット]設定に従った動作をします。

プリンタのセットアップが「パーシャルカット固定(P)」のときは、ドライバの設定で「フルカット」を指定してもパーシャルカットで動作し、「フルカット固定(F)」のときは、ドライバの設定で「パーシャルカット」を指定してもフルカットで動作します。尚、プリンタの初期値は「コマンドに従う(P/F)」です。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
上端印刷位置	用紙上端からの印刷位置を指定します。	
	選択項目	
	12.0mm	用紙上端から 12.0mm の位置から印刷を開始します。
	4.5mm	用紙上端から 4.5mm の位置から印刷を開始します。
余白節約	1.5mm ※FP-510II のみ	用紙上端から 1.5mm の位置から印刷を開始します。
	印刷イメージの下部（[用紙の向き]が「縦」の場合は下側部、「横」の場合は右側部になります）に印刷データがない場合、その余白部分の紙送りを行わずに用紙を節約するかどうかを指定します。	
	設定項目	
	しない （用紙長優先）	ページ内で印刷データがなくなっても、指定された用紙長の位置まで紙送りを行います。
白紙節約	する	ページ内で印刷データがなくなった際に紙送りを行わず用紙を節約します。
	<ガイド> 本設定は、[用紙節約]で「しない」を選択している場合に指定が可能です。	
	印刷するページが白紙のときに、そのページを出力せずに用紙を節約するかどうかを指定します。	
	設定項目	
	しない	白紙節約を行いません。 印刷データのない白紙のページも出力されます。
	する	白紙節約を行います。 印刷データのない白紙のページは出力されません。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
サポート外の用紙が指定された際にドライバの用紙設定で印刷する	ドライバで未定義の用紙サイズ（dmPaperSize）がアプリケーションから指定された際に、ドライバプロパティの設定値を使用して印刷するかどうかを指定します。	
	通常はオフで使用し、お使いのアプリケーションから期待通りの用紙サイズに印刷されない場合や、用紙カットが正しく行われない場合に指定してください。	
	選択項目	
	オフ(未チェック)	dmPaperSize で未定義の用紙が指定された場合、他の用紙指定（dmFormName）に従い印刷します。
	オン(チェック)	dmPaperSize で未定義の用紙が指定された場合、ドライバプロパティの設定値を使用して印刷します。
OK	本ダイアログボックスを閉じ、変更内容を保存します。	
キャンセル	変更内容を保存せずに、本ダイアログボックスを閉じます。	
既定値に戻す	[用紙カットと紙送り]ダイアログボックス内の設定を既定値（初期値）に戻します。	
ヘルプ	本ダイアログボックスのヘルプを表示します。	

4.4 [グラフィクス] タブ



設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
カラー	カラーモードを指定します。	
	選択項目	
	モノクロ	モノクロで印刷します。
	2 カラー	2 色のカラーで印刷します。
	<ガイド> 「2 カラー」で印刷する場合は、2 色対応用紙をお使い下さい。	
ハーフトーン	カラーをモノクロに変換する際の網模様を指定します。	
	選択項目	
	ディザ 6x6	イメージが細かな網模様で印刷されます。表現できる階調は少なくなります。
	ディザ 8x8	イメージが粗めの網模様で印刷されます。表現できる階調は多くなります。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
印刷速度	印刷速度を指定します。	
	選択項目	
	プリンタの設定に従う	プリンタのセットアップに従って印刷します。
	【FP-510II の場合】 1st(遅い) : 11th(速い)	1st(遅い)から 11th(速い)まで、11 段階の指定が可能です。
	【FP-510(BT) の場合】 1st(高品質) : 9th(高速)	1st(高品質)から 9th(高速)まで、9 段階の指定が可能です。
印刷濃度	【上記以外のモデルの場合】 1st(遅い) : 9th(速い)	1st(遅い)から 9th(速い)まで、9 段階の指定が可能です。
	印刷濃度を指定します。	
	選択項目	
	プリンタの設定に従う	プリンタのセットアップに従って印刷します。
	130%(濃い) : 70%(薄い)	130%(濃い)から 70%(薄い)まで、5%単位で指定が可能です。
2 カラー時の黒濃度	2 色で印刷する際の黒の濃度を指定します。	
	選択項目	
	プリンタの設定に従う	プリンタのセットアップに従って印刷します。
	130%(濃い) : 70%(薄い)	130%(濃い)から 70%(薄い)まで、5%単位で指定が可能です。
	<ガイド> 本設定は、[カラー]設定で「2 カラー」を選択している場合に指定が可能です。	
既定値に戻す	[グラフィクス]タブ内の設定を既定値（初期値）に戻します。	

4.5 [オペレーション] タブ



設定項目名	説明・選択項目・設定範囲						
ドロワーキック	ドロワーのキック動作を指定します。						
ドロワー#1	ドロワー#1 のキック動作を指定します。						
	選択項目						
	<table border="1"> <tr> <td>オープンしない</td><td>ドロワー#1 をオープンしません。</td></tr> <tr> <td>印刷開始</td><td>印刷開始時にドロワー#1 をオープンします。</td></tr> <tr> <td>印刷終了</td><td>印刷終了時にドロワー#1 をオープンします。</td></tr> </table>	オープンしない	ドロワー#1 をオープンしません。	印刷開始	印刷開始時にドロワー#1 をオープンします。	印刷終了	印刷終了時にドロワー#1 をオープンします。
オープンしない	ドロワー#1 をオープンしません。						
印刷開始	印刷開始時にドロワー#1 をオープンします。						
印刷終了	印刷終了時にドロワー#1 をオープンします。						
パルス時間	ドロワー#1 をオープンするときのキックする時間を ms 単位で指定します。						
	設定範囲 20ms (レンジ : 20ms) 500ms						
ドロワー#2	ドロワー#2 のキック動作を指定します。						
	選択項目						
	<table border="1"> <tr> <td>オープンしない</td><td>ドロワー#2 をオープンしません。</td></tr> <tr> <td>印刷開始</td><td>印刷開始時にドロワー#2 をオープンします。</td></tr> <tr> <td>印刷終了</td><td>印刷終了時にドロワー#2 をオープンします。</td></tr> </table>	オープンしない	ドロワー#2 をオープンしません。	印刷開始	印刷開始時にドロワー#2 をオープンします。	印刷終了	印刷終了時にドロワー#2 をオープンします。
オープンしない	ドロワー#2 をオープンしません。						
印刷開始	印刷開始時にドロワー#2 をオープンします。						
印刷終了	印刷終了時にドロワー#2 をオープンします。						
パルス時間	ドロワー#2 をオープンするときのキックする時間を ms 単位で指定します。						
	設定範囲 20ms (レンジ : 20ms) 500ms						

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
ブザー	ブザーの鳴動を指定します。	
ブザー	ブザーをどのタイミングで鳴動させるかを指定します。	
	選択項目	
	鳴動しない	ブザーは鳴動しません。
	印刷開始	印刷の開始時にブザーが鳴動します。
	印刷終了	印刷の終了時にブザーが鳴動します。
鳴動時間	鳴動する時間を ms 単位で設定します。	
	※本設定は FP-510II/FP-510/FP-510(PFBM) プリンタ用です。 FP-510K/FP-510K(WL)/FP-510(BT) では、[音色パターン][回数]で設定します。	
	設定範囲 10ms (レンジ : 10ms) 50ms (レンジ : 10ms) 500ms	

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
音色パターン	ブザー音色のパターンを指定します。	
	※本設定は FP-510K/FP-510K(WL)/FP-510(BT) プリンタ用です。 FP-510II/FP-510/FP-510(PFBM) では、[鳴動時間] で設定します。	
	選択項目	
	プリンタの設定に従う	プリンタのセットアップに従って鳴動します。
	パターン 1 (40msON/120msOFF)	パターン 1 (40msON/120msOFF) の音色を鳴動します。
	パターン 2 (140msON/140msOFF)	パターン 2 (140msON/140msOFF) の音色を鳴動します。
	パターン 3 (200msON/200msOFF)	パターン 3 (200msON/200msOFF) の音色を鳴動します。
	パターン 4 (10msON/50msOFF)	パターン 4 (10msON/50msOFF) の音色を鳴動します。
	パターン 5 (30msON/50msOFF)	パターン 5 (30msON/50msOFF) の音色を鳴動します。
外付けブザー	プリンタに接続された外付けのブザーを鳴動します。	
	<ガイド> 外付けブザーの鳴動パターンは、ブザー本体にあるスイッチで設定してください。 プリンタに外付けブザーが接続されていない場合は、本設定を行ってもブザーは鳴動しません。	
回数	ブザーの繰り返し回数を指定します。	
	※本設定は FP-510K/FP-510K(WL)/FP-510(BT) プリンタ用です。 FP-510II/FP-510/FP-510(PFBM) では、[鳴動時間] で設定します。	
	設定範囲 1～5	
	<ガイド> 本設定は、[音色パターン] で「プリンタの設定に従う」「外付けブザー」以外が選択されている場合に指定が可能です。	
音色確認	[音色パターン]、[回数] で指定されたパターンを再生します。 実際にプリンタから再生されるブザーの音色を確認したい場合にクリックします。 ご使用の際は、プリンタを接続し印刷可能であることを確認のうえクリックしてください。	

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
ロゴプリント	ロゴプリントの動作について指定します。 <ガイド> ロゴを印刷するためには、あらかじめユーティリティを使用してプリンタにロゴを登録する必要があります。 ロゴの登録方法については、「ユーティリティユーザーズガイド」の「3.4 ロゴの設定」を参照してください。	
印刷開始	印刷開始時におけるロゴプリントの動作について指定します。	
	選択項目	
	印刷しない ロゴ 1 (2020) ロゴ 6 0 (205B)	印刷開始時にロゴを印刷しません。 印刷開始時に指定したロゴを印刷します。 選択項目の () 内の数字はプリンタに登録されているロゴのキーコードを示します。キーコードはユーティリティを使用して確認することができます。
ページ先頭	ページ先頭におけるロゴプリントの動作について指定します。	
	選択項目	
	印刷しない ロゴ 1 (2020) ロゴ 6 0 (205B)	ページの先頭にロゴを印刷しません。 ページの先頭に指定したロゴを印刷します。 選択項目の () 内の数字はプリンタに登録されているロゴのキーコードを示します。キーコードはユーティリティを使用して確認することができます。
印刷終了	印刷終了時におけるロゴプリントの動作について指定します。	
	選択項目	
	印刷しない ロゴ 1 (2020) ロゴ 6 0 (205B)	印刷終了時にロゴを印刷しません。 印刷終了時に指定したロゴを印刷します。 選択項目の () 内の数字はプリンタに登録されているロゴのキーコードを示します。キーコードはユーティリティを使用して確認することができます。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
ロゴの位置 印刷のイメージに合わせる	[印刷開始][ページ先頭][印刷終了]で印刷するロゴの位置を指定します。	
	選択項目	
	オフ(未チェック)	印刷の仕上がりイメージによらず、用紙送り方向でみて[印刷開始][ページ開始][印刷終了]の位置にロゴを印刷します。[用紙の向き]の「180 度回転」指定によらずロゴは固定の位置に印刷されます。
	オン(チェック)	印刷の仕上がりイメージに合った位置にロゴを印刷します。[用紙の向き]で「180 度回転」が指定されている時は、印刷イメージとロゴを合わせて 180 度回転し印刷します。
既定値に戻す	[オペレーション]タブ内の設定を既定値（初期値）に戻します。	

4.6 [バーコード] タブ



本プリンタドライバでは、バーコード（２次元コード）を幅、高さ等の設定を変更しドライバ内に登録することができます。登録したバーコード（２次元コード）は、アプリケーション上にプリンタフォントとして表示され、そのプリンタフォントを指定することによりバーコード（２次元コード）が印刷されます。

以下に本プリンタドライバがサポートしているバーコード（２次元コード）と、新規に登録する方法、一度登録したバーコードの設定を変更する方法、各種設定の説明について記載します。

4.6.1 バーコード・2次元コードの対応一覧

ここでは、本プリンタドライバがサポートするバーコードと2次元コードの種類について記載します。

尚、[バーコードフォント・リスト]には、初期登録として本プリンタドライバがサポートするバーコードと2次元コード（[コード種類]でサポートするバーコードと2次元コード）が設定されています。

○：サポート、－：未サポート

バーコードフォント・リストに 初期登録されている バーコードフォント名	コード種類	FP-510II/FP-510 /FP-510 (PFBM) /FP-510K (WL) /FP-510 (BT)	FP-510K
Codabar	Codabar	○	○
Code 128	Code 128	○	○
Code 39	Code 39	○	○
Code 93	Code 93	○	○
EAN 13 (JAN 13)	EAN 13 (JAN 13)	○	○
EAN 8 (JAN 8)	EAN 8 (JAN 8)	○	○
ITF	ITF	○	○
RSS Expanded	GS1 DataBar (RSS) Expanded	○	－
RSS Expanded Stacked	GS1 DataBar (RSS) ExpandedStacked	○	－
RSS Limited	GS1 DataBar (RSS) Limited	○	－
RSS-14	GS1 DataBar (RSS-14) Omni.	○	－
RSS-14 Stacked	GS1 DataBar (RSS-14) Stacked	○	－
RSS-14 Stacked Omnidirectional	GS1 DataBar (RSS-14) StackedOmni.	○	－
RSS-14 Truncated	GS1 DataBar (RSS-14) Truncated	○	－
UPC type A	UPC type A	○	○
UPC type E	UPC type E	○	○
DataMatrix Code	DataMatrix Code	○	○
MaxiCode	MaxiCode	○	－
PDF417 Code	PDF417 Code	○	○
QR Code	QR Code	○	○

4.6.2 バーコードフォントの新規登録方法

- (1) プリンタフォルダからプリンタドライバの印刷設定を開きます。
 - (2) [バーコード]タブを開き、[新しいバーコードフォントを作成する]にチェックします。(新規作成モード)
登録済のバーコード(2次元コード)の設定を元に作成する場合は、元にするバーコードフォントを[バーコードフォント・リスト]から選択します。
↓
選択されたバーコードフォントの名称と設定内容が、[バーコードフォント名]と[バーコードの設定]に反映されます。
 - (3) [バーコードフォント名]に登録するバーコードフォントの名称を入力します。
 - (4) [バーコードの設定]を変更します。
 - (5) [追加]をクリックします。
↓
[バーコードフォント・リスト]にバーコードフォントが追加されます。
追加される位置は、1次元、2次元ごとのアルファベット順(昇順)になります。
- ※[追加]をクリックせずに、[バーコードフォント・リスト]で他の項目を選択した場合、(3)(4)で変更した内容は破棄されます。
- (6) [適用]、または、[OK]をクリックし、追加した内容をドライバに適用します。

※[追加]のみで[キャンセル]をクリックした場合は、適用されませんのでご注意ください。

4.6.3 バーコードフォントの設定変更方法

- (1) プリンタフォルダからプリンタドライバの印刷設定を開きます。
- (2) [バーコード]タブを開き、[新しいバーコードフォントを作成する]のチェックを外します。(編集モード)
- (3) [バーコードフォント・リスト]から編集するバーコードフォントを選択します。
↓
選択されたバーコードフォントの名称及び設定内容が、[バーコードフォント名]と[バーコードの設定]に反映されます。
- (3) [バーコードの設定]を変更します。
- (4) [適用]、または、[OK]をクリックし、追加した内容をドライバに適用します。

※[バーコードフォント・リスト]で他の項目を選択した場合でも、変更内容は一時的に保持されていますが、ドライバへの適用は、[適用]、または、[OK]のクリックにて行われます。

4.6.4 設定項目の説明（バーコード共通項目）

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
バーコードフォント・リスト	ドライバに登録されているバーコードフォントの一覧を表示します。 <ガイド> ・本リストに登録されているバーコードフォントが、システム（OS）にプリンタフォントとして通知され、アプリケーションから利用可能となります。 ・初期登録としてプリンタドライバがサポートしているバーコード（2次元コード）が設定されています。 詳細については、「4.6.1 バーコード・2次元コードの対応一覧」を参照してください。 ・最大登録数は30個です。（初期登録済みを含む） ・リスト内のバーコードフォントは、1次元、2次元ごとアルファベット順（昇順）で表示されます。
削除	[バーコードフォント・リスト]で選択しているバーコードフォントを削除します。 <ガイド> 本設定は、次のときに有効です。 ・プリンタフォルダからドライバのプロパティ（印刷設定画面）を開いた場合。 アプリケーションからドライバのプロパティを開いた場合は指定できません。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
新しいバーコードフォントを作成する	新しいバーコードフォントを作成するときにチェックします。
	選択項目
	オフ(未チェック) 編集モード 登録済みバーコードフォント ([バーコードフォント・リスト] で選択しているバーコード フォント)の設定を編集します。
	オン(チェック) 新規作成モード 新しいバーコードフォントを作 成します。 [バーコードフォント・リスト] には、[追加]ボタン押下により 登録されます。
	<ガイド> 本設定は、次のときに有効です。 ・プリンタフォルダからドライバのプロパティ（印刷設定画面）を開いた場合。 ・登録されているバーコードフォントが最大数(30 個)に達していない場合。
バーコードフォント名	新しく作成するバーコードフォントの名前を入力します。
	<ガイド> 本設定は、次のときに有効です。 ・プリンタフォルダからドライバのプロパティ（印刷設定画面）を開いた場合。 ・新規作成モード時（[新しいバーコードフォントを作成する]がチェックされているとき） 入力可能な文字数は、半角文字で 31 文字、全角文字で 15 文字までです。また、次の文字は使用できません。 ・先頭または末尾のスペース（空白） ・“@” 文字
追加	バーコードフォントを [バーコードフォント・リスト] に追加します。設定は、[バーコードの設定]に表示されている内容で保存されます。
	<ガイド> 本設定は、次のときに有効です。 ・プリンタフォルダからドライバのプロパティ（印刷設定画面）を開いた場合。 ・新規作成モード時（[新しいバーコードフォントを作成する]がチェックされているとき） ・[バーコードフォント名]が入力され、その名称が[バーコードフォント・リスト]、または、システム（OS）に登録されているフォントに同名のものがない場合。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
バーコードの設定	新規作成、編集時において、バーコード（2次元コード）の各種設定を行います。	
コード種類	バーコード、または、2次元コードの種類を指定します。設定可能なコード種類については、「4.6.1 バーコード・2次元コードの対応一覧」を参照してください。	
	<ガイド> 本設定は、次のときに有効です。 ・プリンタフォルダからドライバのプロパティ（印刷設定画面）を開いた場合。 本設定変更時、[バーコードの設定]内にあるその他の設定が選択された[コード種類]に応じた設定項目に切り替わり、設定値には初期値が表示されます。	
置換元フォント	Windows に登録されているフォントを[コード種類]で選択しているバーコード（2次元コード）に置換して印刷する際に指定します。	
	選択項目	
	使用しない	Windows に登録されているフォントからバーコード（2次元コード）への置換は行わず、[コード種類]で選択しているバーコード（2次元コード）のみバーコード（2次元コード）として印刷します。
	（Windows に登録されているフォント）	選択されたフォントを[コード種類]で選択しているバーコード（2次元コード）に置換して印刷します。
既定値に戻す	[コード種類]で選択されているバーコード（2次元コード）の設定を既定値（初期値）に戻します。	

4.6.5 バーコードの設定

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
置換元フォント	「4.6.4 設定項目の説明（バーコード共通項目）」を参照ください。	
ナローバーの幅	ナローバーの幅を指定します。（単位：1/203 インチ）	
	設定範囲 (A) のバーコード：1～6 (B) (C) のバーコード：1～8 (A) Codabar, EAN 13(JAN 13), EAN 8(JAN 8), Code 39, ITF, Code 93, UPC type A, UPC type E, Code 128 (B) RSS-14, RSS-14 Truncated, RSS Limited, RSS Expanded (C) RSS Expanded Stacked, RSS-14 Stacked, RSS-14 Stacked Omnidirectional	
バーコードの高さ	バーコードの高さを指定します。（単位：1/203 インチ）	
	設定範囲 (A) のバーコード：1～255 (B) (C) のバーコード：1～600	
HRI 文字	HRI 文字の印刷を指定します。	
	選択項目	
	印刷しない	HRI 文字を印刷しません。
	上に印刷する	HRI 文字をバーコードの上に印刷します。
	下に印刷する	HRI 文字をバーコードの下に印刷します。
	上と下に印刷する	HRI 文字をバーコードの上下に印刷します。
HRI 文字の字体	<ガイド> 本設定は、[コード種類]で(A),(B)のバーコードを選択しているときに指定が可能です。(C)のバーコードを選択しているときは設定できません。	
	HRI 文字の字体を指定します。 本設定は、[HRI 文字]で「上(下, 上と下)に印刷する」を選択しているときに指定が可能です。	
	選択項目	
	フォント A	HRI 文字をフォント A で印刷します。
	フォント B	HRI 文字をフォント B で印刷します。
	フォント C	HRI 文字をフォント C で印刷します。
	<ガイド> 本設定は、[コード種類]で(A),(B)のバーコードを選択しているときに指定が可能です。(C)のバーコードを選択しているときは設定できません。	

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
バーコードの最大幅	RSS Expanded Stacked バーコードの最大幅を指定します。 (単位: 1/203 インチ)	
	設定範囲 106~3952	
	<ガイド> 本設定は、[コード種類]で RSS Expanded Stacked を選択しているときに指定が可能です。	
回転	バーコードの回転角度を指定します。	
	選択項目	
	0 度	回転せずに[用紙の向き]に従いバーコードを印刷します。
	90 度	[用紙の向き]に対して 90 度回転してバーコードを印刷します。
	180 度	[用紙の向き]に対して 180 度回転してバーコードを印刷します。
	270 度	[用紙の向き]に対して 270 度回転してバーコードを印刷します。

<ガイド>

・ Code 39 バーコードについて

- アルファベット (A~Z) は、大文字で指定して下さい。
- スタート, ストップコード(*)はプリンタ側で自動的に付加します。
- 文字列中に' * 'があると、' * 'までを印刷して以降は通常文字として印刷されます。

・ Code128 バーコードについて

- 文字列の先頭にスタートコード ({A, {B, {C ※半角)を付加して下さい。
スタートコードが無い場合、Code128 バーコードは印刷されません。
- スタートコード C は、先頭以外ではコード指定やファンクション指定を行わないで下さい。

・ ITF バーコードについて

- 指定する文字数を、偶数として下さい。
奇数の文字数が指定された場合は、末尾の 1 文字を省略してバーコードが作成されます。

- ・ RSS バーコードについて

- 以下の RSS 系バーコードを印刷する際は、データの先頭に識別子“01”を付加してください。

- RSS-14

- RSS-14 Truncated

- RSS-14 Stacked

- RSS-14 Stacked Omnidirectional

- RSS Limited

- ・ RSS Expanded Stacked について

- [バーコードの最大幅]は、指定された幅以内にバーコードを生成する機能ですがナローバーの幅によっては、[バーコードの最大幅]で指定した値を超えて印刷されることがあります。

ナローバーの幅に対し、有効な [バーコードの最大幅] は以下になります。

ナローバーの幅	バーコードの最大幅
1	53dot 以上
2	106dot 以上
3	159dot 以上
4	212dot 以上
5	265dot 以上
6	318dot 以上
7	371dot 以上
8	424dot 以上

※上記に満たない値を設定した場合、
[バーコードの最大幅]を超えて印刷されます。

4.6.6 QR Code の設定

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
置換元フォント	「4.6.4 設定項目の説明（バーコード共通項目）」を参照ください。	
セルサイズ	セルのサイズを指定します。	
	設定範囲 3～12	
モデル番号	QR コードの種類を指定します。	
	選択項目	
	モデル 1	QR コードモデル 1 を指定します。
	モデル 2	QR コードモデル 2 を指定します。
	マイクロ QR	マイクロ QR コードを指定します。
誤り訂正レベル	QR コードの誤り訂正レベルを指定します。	
	選択項目	
	レベル L	コードの約 7%が損傷しても復元可能なレベルです。
	レベル M	コードの約 15%が損傷しても復元可能なレベルです。
	レベル Q	コードの約 25%が損傷しても復元可能なレベルです。
	レベル H	コードの約 30%が損傷しても復元可能なレベルです。 本項目は、[モデル番号]が「マイクロ QR」のときは指定できません。
回転	QR Code の回転角度を指定します。	
	選択項目	
	0 度	回転せずに[用紙の向き]に従い QR Code を印刷します。
	90 度	[用紙の向き]に対して 90 度回転して QR Code を印刷します。
	180 度	[用紙の向き]に対して 180 度回転して QR Code を印刷します。
	270 度	[用紙の向き]に対して 270 度回転して QR Code を印刷します。

4.6.7 PDF417 Code の設定

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
置換元フォント	「4.6.4 設定項目の説明（バーコード共通項目）」を参照ください。
桁数	桁数を指定します。 設定範囲 0～30
段数	段数を指定します。 設定範囲 0, 3～90
幅	幅を指定します。 設定範囲 2～8
高さ	高さを指定します。 設定範囲 2～8
誤り訂正	誤り訂正レベルを指定します。 選択項目 レベル 0 レベル 1 レベル 2 レベル 3 レベル 4 レベル 5 レベル 6 レベル 7 レベル 8
シンプルシンボル	シンプルシンボルとして PDF417 コードを印刷するときに指定します。 選択項目 オフ（未チェック） オン（チェック）

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
回転	PDF417 Code の回転角度を指定します。	
	選択項目	
	0 度	回転せずに[用紙の向き]に従い PDF417 Code を印刷します。
	90 度	[用紙の向き]に対して 90 度回転して PDF417 Code を印刷します。
	180 度	[用紙の向き]に対して 180 度回転して PDF417 Code を印刷します。
	270 度	[用紙の向き]に対して 270 度回転して PDF417 Code を印刷します。

<ガイド>

桁数=0, 段数=0（初期設定）の時は、最小の桁数を元に段数を自動で算出し、PDF417 Code を印刷します。

4.6.8 DataMatrix Code の設定

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
置換元フォント	「4.6.4 設定項目の説明（バーコード共通項目）」を参照ください。	
タイプ	正方形か長方形のタイプを指定します。	
	選択項目 正方形 長方形	
正方形のサイズ	正方形のサイズを指定します。	
	設定範囲 0, 10～144	
長方形のサイズ	長方形のサイズを指定します。	
	選択項目 18x8 32x8 26x12 36x12 36x16 48x16	
セルサイズ	セルのサイズを指定します。	
	設定範囲 3～16	
回転	DataMatrix Code の回転角度を指定します。	
	選択項目	
	0 度	回転せずに[用紙の向き]に従い DataMatrix Code を印刷します。
	90 度	[用紙の向き]に対して 90 度回転して DataMatrix Code を印刷します。
	180 度	[用紙の向き]に対して 180 度回転して DataMatrix Code を印刷します。
	270 度	[用紙の向き]に対して 270 度回転して DataMatrix Code を印刷します。

4.6.9 MaxiCode の設定

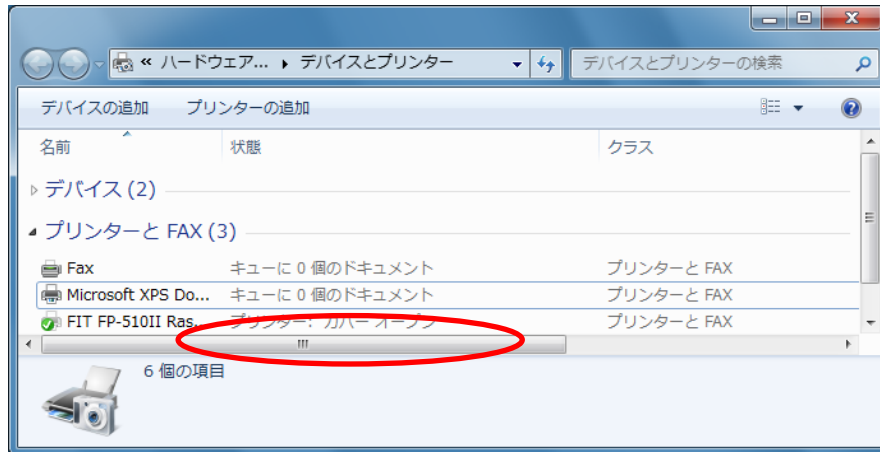
設定項目名	説明・選択項目・設定範囲
置換元フォント	「4.6.4 設定項目の説明（バーコード共通項目）」を参照ください。
モード	MaxiCode のモードを指定します。 選択項目 モード 2 モード 3 モード 4 モード 5
サービスコード	サービスコードを指定します。 設定範囲 0～999 <ガイド> 本設定は、[モード]が「モード 2」または「モード 3」のときに指定が可能です。
国コード	国コードを指定します。 設定範囲 0～999 <ガイド> 本設定は、[モード]が「モード 2」または「モード 3」のときに指定が可能です。
郵便コード	郵便コードを指定します。 入力可能文字 「モード 2」のとき：1～9 桁の数字 「モード 3」のとき：下記*1 の記号を含む 6 桁固定の英数字 *1: SP " # \$ % & ' () * + , - . / <ガイド> 本設定は、[モード]が「モード 2」または「モード 3」のときに指定が可能です。

設定項目名	説明・選択項目・設定範囲	
回転	MaxiCode の回転角度を指定します。	
	選択項目	
	0 度	回転せずに[用紙の向き]に従い MaxiCode を印刷します。
	90 度	[用紙の向き]に対して 90 度回転して MaxiCode を印刷します。
	180 度	[用紙の向き]に対して 180 度回転して MaxiCode を印刷します。
	270 度	[用紙の向き]に対して 270 度回転して MaxiCode を印刷します。

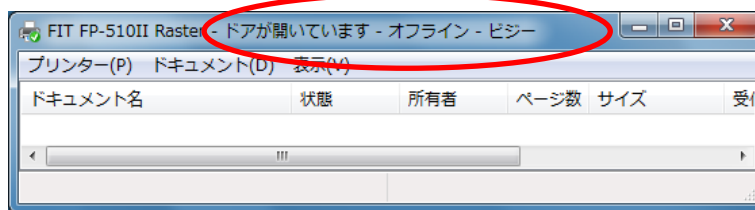
5 プリンタのステータス情報の表示

FP-510II/FP-510/FP-510 (PFBM) プリンタドライバは、シリアル、パラレル、USB インタフェース接続時に、プリンタフォルダやプリントスプーラにプリンタのステータス情報を表示します。(FP-510K/FP-510K (WL)/FP-510 (BT) では表示されません)

- ・プリンタフォルダの「状態」へ表示



- ・スプーラのタイトルバーへ表示



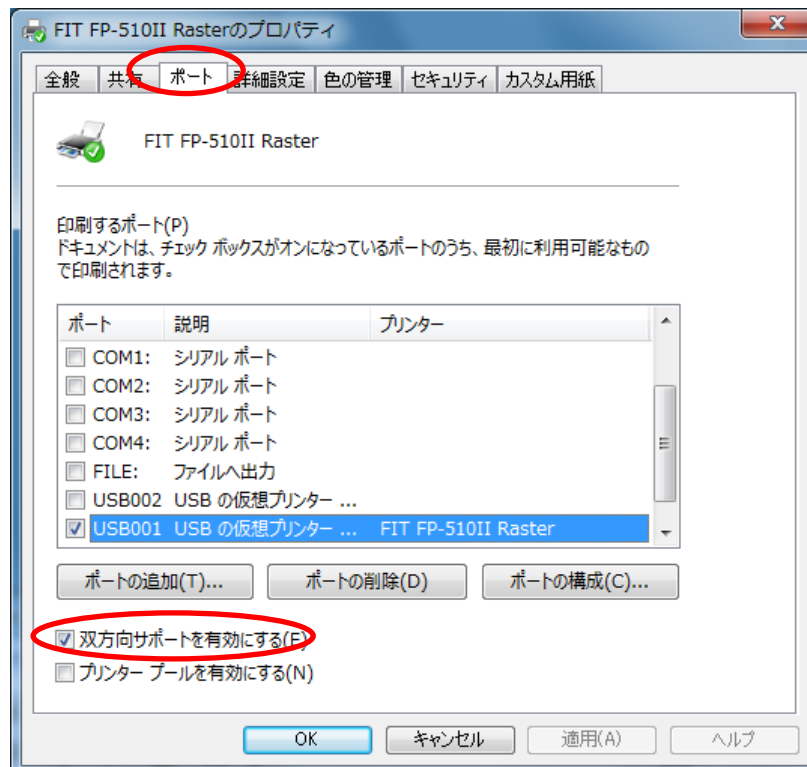
表示される内容は OS 環境やプリンタフォルダの表示設定により異なることがあります。以下に Windows XP と Windows 7 の例（表示設定を「詳細」にした場合）を記載します。

＜プリンタステータス情報の表示例＞

プリンタの状態	プリンタフォルダの「状態」		スプーラのタイトルバー	
	Windows XP	Windows 7	Windows XP	Windows 7
オフライン	オフライン	(表示なし)	オフライン	オフライン
カバーオープン	カバーオープン オフライン ビジー	カバーオープン	ドアが開いています オフライン ビジー	ドアが開いています オフライン ビジー
用紙なし	用紙切れ オフライン ビジー	用紙切れ	用紙切れ オフライン ビジー	用紙切れ オフライン ビジー
用紙レイアウトエラー	用紙エラー オフライン ビジー	用紙エラー	用紙の問題 オフライン ビジー	用紙の問題 オフライン ビジー
ヘッドホット	オフライン ビジー	(表示なし)	オフライン ビジー	オフライン ビジー
ハードウェアエラー	オフライン 利用不可	(表示なし)	オフライン 印刷不可	印刷不可 オフライン
通信エラー	利用不可	(表示なし)	印刷不可	印刷不可 プリンタをオフラインで使用する

<ガイド>

- ・プリンタのステータス情報の表示は、シリアル、パラレル、USB インタフェース接続時に使用することができます。LAN インタフェースではご使用になれません。
尚、USB インタフェースはプリンタクラスで使用できます。仮想 COM クラスではご使用になれません。プリンタのセットアップの [USB] 設定は「プリンタ」のままご使用ください。
- ・プリンタのステータス情報の表示は、プリンタドライバの双方向通信設定が有効のときに使用できます。
FP-510II/FP-510/FP-510 (PFBM) 用のプリンタドライバでは、初期値有効となっていますので、そのままの設定でご使用頂けます。



- ・シリアルインタフェースでご使用の場合、印刷中に次のエラーが発生した状態でプリンタの電源をオフにしても、プリンタのステータス情報が「通信エラー」時の表示となりません。
 - ・ヘッドホット
 - ・用紙なし
 - ・カバーオープン
 - ・ハードエラー
- ・プリンタのステータス情報は、複数台のプリンタ接続に対応しておりません。複数台のプリンタを接続した場合は、正常なステータス情報の表示を行うことができません。
- ・シリアルインタフェースをご使用の際は、115200bps のボーレートを推奨します。
- ・パラレルインタフェースをご使用の際、プリンタの電源をオフにすると、最長で 90 秒間電源オフの状態が検出できなくなります。

- ・ プリンタに制御コマンドを送信するアプリケーションを動作させる場合、プリンタのステータス情報は使用できません。プリンタのステータス情報を取得するためのコマンドを送受信するため、アプリケーションが誤動作します。このような場合は、プリンタドライバの双方向通信機能を無効にして（上図の[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して）、アプリケーションを動作させてください。

6 使用上の注意

6.1 プリンタドライバの設定に関する注意事項

- (1) プリンタのプロパティ [詳細設定] タブの [一致しないドキュメントを保留する] をチェックしないでください。「無効な印刷設定です」と表示 (スプーラの状態表示) され、印刷できません。
- (2) プリンタのプロパティ [ポート] タブの [双方向サポートを有効にする] は、接続環境により以下の設定でご使用ください。
 - シリアル, パラレル, USB で使用する場合 : チェックする (初期値)
 - LAN (PR-PortManager) で使用する場合 : チェックを外す
- (3) USB 接続で本プリンタを 2 台以上接続する場合
プリンタを増設する場合は、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。
 - 1. 増設するプリンタのセットアップの [シリアル番号] を「有効」に設定にします。
 - 2. プリンタドライバのインストールを再度行います。

※ プリンタのセットアップは、ユーティリティを使用して設定可能です。ユーティリティの使用方法については、「ユーティリティユーザーズガイド」を、プリンタドライバのインストール方法については、「インストールガイド」を参照してください。

6.2 アプリケーションに関する注意事項

- (1) 他の Windows オペレーティングシステム固有のアプリケーションソフトから印刷を行いますと他の Windows オペレーティングシステムでの印刷結果と異なる場合があります。
- (2) お使いのアプリケーションによっては、余白量を少なくすると正しく印刷されない場合があります。プリンタドライバが既定で持つ用紙については、余白の設定を下表以上に設定してください。
カスタム用紙については、作成した際の余白以上に設定してください。

用紙サイズ	用紙の向き：縦				用紙の向き：横			
	左 余白	右 余白	上 余白	下 余白	左 余白	右 余白	上 余白	下 余白
83x297mm (53 桁)	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0
80x297mm (48 桁)	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0
80x297mm (42 桁)	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0
60x297mm (36 桁)	3.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	3.0
58x297mm (35 桁)	3.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	3.0
58x297mm (32 桁)	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0

[単位：mm]

- (3) 部数印刷を行う時は、部数指定をチェックしてください。お使いのアプリケーションによっては、部数指定のチェックを外すと、正常に印刷しない場合があります。また、部数印刷指定時に部単位で印刷ジョブが作成されるアプリケーション (Microsoft 社の Excel 等) では、「印刷終了時に用紙をカットする」設定が無効となる場合があります。
- (4) 本プリンタドライバを使用して部数印刷を行う際、アプリケーションから指定可能な最大数は「999」です。
上記以上の印刷を行うときは、複数回に分けて印刷してください。

6.3 バーコード・2次元コードに関する注意事項

- (1) 本プリンタドライバのバーコードフォントは、プリンタフォントとして定義しています。アプリケーションによっては、アプリケーションのフォントリストにプリンタフォントが表示されない場合がありますが、[置換元フォント]でバーコードに置き換えるフォントを指定することによりバーコードの印刷が可能です。
- (2) アプリケーションによっては、アプリケーション内のフォント置換により、バーコード指定したフォントが置き換わる場合があります。
- (3) バーコードを印刷した時に、設定（ナローバー、回転等）や位置、文字数により、指定した用紙の印刷領域外にかかるバーコードは印刷されません。印刷結果を確認して設定してください。
- (4) バーコードを指定したフォントに対し、修飾（太字, 斜体, 中抜き等）は行わないで下さい。また、縦書きの文字や折り返しされている文字については、バーコードが正常に印刷されませんのでご注意ください。
- (5) アプリケーションの画面には印刷後のバーコードが表示されません。
 - バーコード・2次元コードと周辺の文字が重ならないよう、位置を調整してください。
 - 同一行内に同一種類のバーコード（2次元コード）を複数印刷することはできません。
- (6) アプリケーションによっては、文字列末尾の全角スペースまたは半角スペースをプリンタドライバに正しく通知しない場合があります。これらのアプリケーションから、末尾に全角スペースまたは半角スペースを含む文字列をバーコード指定した場合、期待するバーコードと印刷結果が異なる場合があります。
- (7) 2次元コードの制限事項
 - アプリケーションによっては、指定した文字列中の全角スペースは半角スペースで印刷されます。
- (8) バーコード・2次元コードのデータについて
 - 指定したバーコードが規定の文字数に満たない場合や超える場合、そのバーコードは印刷されません。
 - バーコードおよび2次元コードの使用可能な文字セットおよび文字列長を次頁に示します。

【バーコード】

バーコードの種類	使用可能な文字コード	文字列長
Codabar	数字 : '0' ~ '9' 記号 : '\$', '+', '-', '.', '/', ':', '¥' スタート・ストップ キャラクタ : 'A' ~ 'D' (自動付加)	1~210
EAN 13 (JAN 13)	数字 : '0' ~ '9'	12~13
EAN 8 (JAN 8)	数字 : '0' ~ '9'	7~8
Code 39	数字 : '0' ~ '9' 英字 : 'A' ~ 'Z' 記号 : ' ', '%', '\$', '+', '-', '.', '/', ※スタート・ストップ キャラクタ '*' は自動で付加されます。	1~210
ITF	数字 : '0' ~ '9'	2~210
Code 93	0x00~0x7F	1~210
UPC type A	数字 : '0' ~ '9'	11~12
UPC type E	数字 : '0' ~ '9'	11~12
Code 128	Code Set A : ' {A' 0x00 ~ 0x5F Code Set B : ' {B' 0x20 ~ 0x7F Code Set C : ' {C' 0x00 ~ 0x63 但し、' {' を含むキャラクタは除く。	3~210
RSS-14	数字 : '0' ~ '9' (※1)	15~16
RSS-14 Truncated	数字 : '0' ~ '9' (※1)	15~16
RSS Limited	数字 : '0' ~ '9' (※1)	15~16
RSS Expanded	数字 : '0' ~ '9' 英字 : 'A' ~ 'Z', 'a' ~ 'z' 記号 : ' ', '!', '"', '%', '&', '(', ')', '*', '+', '-', '.', '/', ':', ';', '<', '=', '>', '?', '_'	※2
RSS Expanded Stacked	数字 : '0' ~ '9' 英字 : 'A' ~ 'Z', 'a' ~ 'z' 記号 : ' ', '!', '"', '%', '&', '(', ')', '*', '+', '-', '.', '/', ':', ';', '<', '=', '>', '?', '_'	※2
RSS-14 Stacked	数字 : '0' ~ '9' (※1)	15~16
RSS-14 Stacked Omnidirectional	数字 : '0' ~ '9' (※1)	15~16

(※1) 先頭は必ず'01'を付加して下さい。

(※2) 先頭に'01'が付加された数字の場合 : 1~74

先頭に'01'が付加されない数字の場合 : 1~70

英数混在の場合は可変となります。

【2次元コード】

2次元コードの種類	使用可能な文字コード	文字列長
QR Code	すべてのコード (0x00~0xFF)	モデル 1 英数字 : ~707 数字 : ~1167 漢字 : ~299 モデル 2 英数字 : ~4296 数字 : ~7089 漢字 : ~1817 マイクロ QR 英数字 : ~21 数字 : ~35 漢字 : ~9
PDF417	0x00~0xFF ただし、 0x00~0x7F は ASCII コードに 従い、 0x80~0xFF は PC437 (USA: Standard Europe) の英語表の拡張キャラクタ セットに従う文字列。	英数字 : ~1850 数字 : ~2710
DataMatrix	すべてのコード (0x00~0xFF)	英数字 : ~2335 数字 : ~3116
MaxiCode	すべてのコード (0x00~0xFF)	英数字 : ~93 数字 : ~138

6.4 その他の注意事項

- (1) プリンタポートから印刷途中で印刷を「キャンセル」した場合、プリンタの電源を再投入してください。プリンタの電源を再投入せずに再印刷した場合、不正に印刷されるなどの問題が発生することがあります。
- (2) Windows 2000 の USB インタフェースでご使用の場合、パソコンをスタンバイ、休止状態から復帰した後は、プリンタの電源を再投入してください。プリンタの電源を再投入せずに印刷した場合、通信異常により印刷ができず、印刷ジョブが削除されない問題が発生することがあります。
- (3) プリンタのプロパティよりポート設定を変更した際はパソコンを再起動してください。再起動せずに使用した場合、スプーラに「印刷不可」が表示されたり、印刷ジョブが残ったままになる等の問題が発生することがあります。
- (4) Bluetooth をお使いの場合、以下の内容についてご注意ください。
 - ・ お使いの環境によっては印刷開始直後に OS のエラー表示がされる場合があります。その場合、しばらくお待ちいただくとエラー表示が解除され印刷が開始されます。尚、しばらく待ってもエラー表示が解除されず印刷が行われない場合は、プリンタの状態を確認してください。
 - ・ 不正な印刷が行われる場合は、印刷中に通信が途切れた可能性がありますので、接続環境をご確認ください。
なお、通信が途切れた際に以下の対応を行うことで不正印刷が回避されます。
 - －プリンタの電源再投入
 - －スプーラの印刷データを削除する

7 改訂履歴

Revision	更新日
2.0.0.0	初版 (2011/01/28)
2.0.1.0	2011/02/28
2.1.0.0	2011/06/10
2.1.1.0	2011/07/27
2.1.2.0	2011/11/14
2.1.3.0	2015/07/23



FUJITSU